

2/23 木曜

## 民医連が会見

全日本民主医療機関連合  
会は22日、菅直公政権がね  
らう75歳以上の医療費窓口  
負担2割化の中止・撤回を

求めて、東京都内で記者会

見を開き、1571の団体

署名と、14万7647人分

の署名が集まると公表し  
ました。窓口負担増による  
受診控えの影響や、オンライン  
インを使い当事者らが2割  
化の反対を表明しました。

動画で報告した東京都の  
田中敬子さんは介護が必要  
な夫と暮らし、自身も持病

で通院しています。今でも  
食費や服の購入を控えてお  
り、医療費が倍になれば  
「何を削ればいいのか」と  
厳しい実態を告発しまし  
た。

広島中央保健生活協同組

合のアンケートには、98歳

の父を持つ60代の女性が、

訪問介護が高額なため利用

するか「いつも迷います」

といった悲痛の声を寄せま  
した。

岸本啓介事務局長は、低  
すぎる年金のため、非正規  
雇用で働き暮らしを支えて  
いる高齢者が多いと指摘。

新型コロナウイルス感染症  
で医療体制がひっ迫してい  
る観点からも、必要な医療  
を必要なときに受けられる  
よう、「知恵とお金を使う  
政治にかじをきつてほし  
い」と訴えました。

久保田直生常駐理事は、  
窓口負担増で懸念される受  
診抑制は重篤化を招き、か  
えって医療費の増大につな  
がると強調。2割化による  
現役世代の負担軽減はわず  
か円767円で「現役世代と負  
担を公平化する」という建  
前は「理論的に破たんして  
いる」と批判しました。